

設立趣旨書

NPO法人SKIPひらかた

設立代表者 中山清司

1 趣旨

発達障害の人たちを取り巻く社会情勢は、近年、障害者自立支援法・発達障害者支援法の施行や特別支援教育の導入によって、大きく進展してきました。しかしながら、私たちが身近に接する発達障害の人たちとその家族の生活を見渡すと、いまだに、幼児・学齢期から青年・成人期にいたるトータルなサポート体制は未整備なままで、過渡的で不透明な段階だと言えます。そのため、十分な支援を受けるためには個人の多大な努力が求められ、発達障害の人とその家族には大きな負担がかかっています。

そのような現状の問題を見据えつつ、今後、発達障害の人たちが社会の一員として活躍できる社会の実現を目指し、私たちは当事者である発達障害の人たち・家族と、支援者が地域で具体的に協力し、協働で事業を担えるよう、NPO法人を設立することにしました。

第一段階として、幼児・学齢期のサポート体制を補完するために、発達障害に特化した児童デイサービス事業を立ち上げます。その後も、当法人の活動を地域社会に積極的に発信し、周囲からの理解と支援を得ながら活動の幅を広げていきたいと考えています。

□私達が目指すもの

NPO法人SKIPひらかたは、発達障害の人が生涯にわたって、周囲から自身の在り方を肯定的に認められ、自尊心を持って暮らし、社会での役割を担うことで、豊かな地域生活を送られることを大切にします。様々な人たちが個性を認め合いながら、共に生きる社会を希求することが当たり前になってきた現在、私たちは発達障害の人たちの暮らしもまた、そのようにありたいと願っています。そのため、以下の内容を主軸に、事業を展開し、拡充していきます。

①障害特性の正しい理解と教育支援の見地から、発達障害の子どもたち一人ひとりに合わせた教育支援活動を提供していきます。そのために発達障害の子どもたちが持つ「成長する力」を、支援者・家族が確認し、その子に合わせた教育支援プランを実践していきます。

②発達障害の人が社会に出て活躍する力となるために、“身辺自立、職業スキルと職業態度、余暇活動、コミュニケーションと対人行動スキルなど”を重視した独自の教育支援活動を展開していきます。そのことを通して、地域における長期にわたるサポート体制の確立を進めていきます。

③法人の安定した経営基盤を作り、市民・行政・支援機関等と協働しながら、発達障害の理解と社会啓発活動を続けていきます。また、支援者の養成にも力をかけ、人材開拓と次世代のリーダーの養成を目指します。

2 申請に至るまでの経過

平成18年から現在にいたるまで、発達障害の専門家と大阪府枚方市を拠点に活動する自閉症・発達障害親の会「ポレポレネットワーク」に所属する保護者らが連携して、発達障害の子どもたちの教育と生涯に渡るトータルなサポート体制を検討する勉強会、講演会、ワークショップなどを継続して開催し、発達障害の理解と社会啓発に努めてきました。

そして、これまでの協力関係をより深め、地域におけるサポート体制を具体的なものにしていくため、平成20年11月よりNPO法人設立に向けた検討ミーティングを重ねてきました。この度、NPO法人の設立と児童デイサービスの事業認可に向け、「親ができること」「専門家ができること」を再確認しました。それぞれの立場から発達障害の人たちの豊かな生活を求めて互いに協力し、具体的な支援システムの構築を目指して、法人の事業をスタートします。